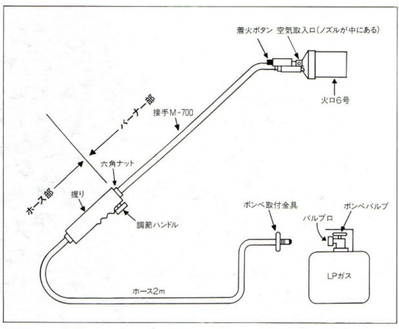
プロファイヤー使用説明



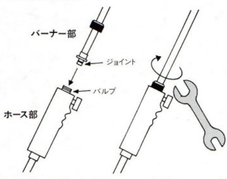
プロファイヤー仕様

重　量	0.8kg
全　長	880mm
ホース長さ	2m (オプション:3,5,10m有り)
使用燃料	プロパン
燃焼時間 (圧力によって変わる場合あり)	約2～2.5時間/2kg
火焔直径	50mm
火焔長さ	500mm
炎温度	1400℃
予熱時間	予熱不要
除草目安(面積)	～40坪
火力指数	2.5

■ 使用順序

組み立て

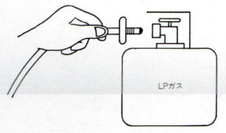
1．バーナー部のジョイント部分をホース部のバルブ部分へ下図のようにさし込み、六角ナットをスパナ等でかたく締めて下さい。



取付け

2．調節ハンドル及びボンベバルブが閉じているか確認して下さい。

3．LPガスボンベのバルブ口を布等できれいにふき、プロファイヤーのボンベ取付金具を直接接続します。(左ネジ) 注：この時、調整器、減圧弁等は不要です。



点火

4．ボンベバルブを開き、バルブの接続部分、ホース等からガス漏れのないことを確認して下さい。

5．プロファイヤーの調節ハンドルを少し開き、着火ボタンを押しガスに点火します。

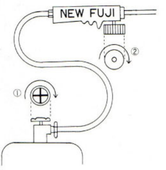
注：この時、ガスの噴出量が多いと着火しない場合があります。着火しない場合は、一度プロファイヤーの調節ハンドルを閉じ、もう一度ガスの噴出量を少なくして着火ボタンを押して下さい。



6．調節ハンドルを徐々に開いて炎を調節します。火口を斜めにして、焼却物から火口を少し離し、追い風になる様ご使用下さい。

消火

7．①先にLPガスのボンベバルブを閉じ、ホース内のガスが完全に燃え、炎が完全に消えてから、
②プロファイヤーの調節ハンドルを閉じ、作業を終了します。



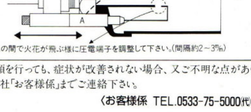
使用上の注意

1．使用説明をよくお読みの上、ご使用下さい。
2．ご使用の際は、消火用の水又は消火器等を用意し、火災には充分注意して下さい。
3．燃料はプロパンガス以外のものを絶対に使用しないで下さい。
4．必ず屋外で使用して下さい。又、可燃物(板ベイ、かや、ぶき屋根等)の近くでは使用しないで下さい。
5．ご使用の際は、作業しやすい靴と、燃えにくい衣類を着用して下さい。
6．使用中又は使用直後は、火口及び着火ボタン付近が熱くなっていますので紙、ビニール等の可燃物を近づけたり、手を触れたりしないで下さい。
7．着火時及び使用中は、火口を人体に向けたり、のぞきこんだりしないで下さい。
8．強風の時は使用しないで下さい。又、周りに人や動物がいないことを確かめてご使用下さい。
9．炎や熱をLPガスボンベやホースに近づけないで下さい。
10．LPガスボンベはかならず直立状態で使用して下さい。
11．作業終了後及び移動の際は、必ずボンベバルブを閉じて下さい。
12．通常、プロパンガスは無色です。白色のガスが出る時は生ガスが出ているので、点火しないで下さい。生ガスが出た時は、一度ボンベバルブを閉じ、調節ハンドルだけを開け、ホース内の生ガスを放出して下さい。
13．勝手に分解や改造をしたり、当社純正部品以外の部品または付属品を付けて使用しないで下さい。当社は、そのような場合に発生した事故または品質保証等の責任は一切負いかねますので、あらかじめご了承下さいますようお願い申し上げます。
14．お子様の手の届かぬ場所に保管して下さい。

おかしいなと思ったら、もう一度ご点検下さい。

症　状	考えられる原因	対　策
火力が弱い	ノズルのつまり。	火口を取りはずし、ノズルを取り出し、別売の掃除針(トーチランプ用)等で掃除して下さい。
	ボンベ内圧力の低下(燃料が少ない場合、温度低下の場合)	もよりの充てん所にて充てんして下さい。又、まだ燃料が残っている時は、常温で放置し、圧力の上がるのを待って下さい。
炎の色が赤い	生ガスが出ている。	消火後、ボンベバルブを閉じ、調節ハンドルのみ開き、ホース内の生ガスを放出し、LPガスボンベを直立状態でしばらく静かに放置して下さい。
焼却中、火が消える	焼却時に出る煙を吸い込んだことによる酸欠。	火口を斜めにして、焼却物からもう少し離し、追い風になる様ご使用下さい。
着火しない	ガス噴出量が多い。	一度調節ハンドルを閉じ、ガスの噴出量を少なくして着火して下さい。
	圧電端子の位置ずれ。	下図の要領で調整して下さい。

A－A断面図

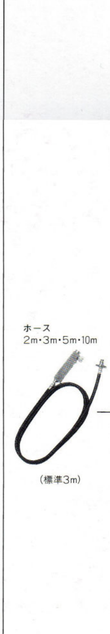


● 上記の手順を行っても、症状が改善されない場合、又ご不明な点がありましたら、当社「お客様係」までご連絡下さい。

〈お客様係 TEL.0533-75-5000代〉

■部品の組み替え

部品交換により152種類の組み替え可能



火口名	炎温度 ℃ / 炎形状	火口径 mm / ガス消費量 kg/h	主な用途
SS.1号	800～1500	12	● 貴金属・細工物加工 ● ガラス細工、七宝焼 ● 小物の各種ロウ付 ● ハンダ付
	極細集中炎	0.2	
S.1号	2000	17	● 銅管・ステンレス管のロウ付作業 ● 各種配管工事・鉛工作業 ● パイトのロウ付加工 ● ハンダ付 ● 金属の焼入焼戻し ● 貴金属・細工物加工 ● 各種乾燥・加熱作業
	渦巻集中炎	0.3	
S.2号	2000	21	
	渦巻集中炎	0.5	
S.3号	2000	28	
	渦巻集中炎	0.8	
3号	1400	25	● 杉焼・木模焼 ● 塩ビパイプ等の加熱加工 ● 塗装・錆の除却・水道管の凍結解氷 ● リノリューム床施工 ● 自動車・造船板金作業 ● 焼豆腐加工
	棒状炎	0.4	
5号	1400	35	
	棒状炎	0.8	
6号	1400	50	● 焼ぐい ● 凍結解氷 ● 鋳型乾燥及び予備加熱 ● 雑草焼除作業
	棒状炎	1.2	
7号	1500	60	● 道路上の白・黄ラインの溶解消除 ● 雑草焼除作業 ● 家畜舎・土壌の消毒
	棒状炎	5.0	
8号	1500	75	● 道路補修工事 ● 鉄道レールポイントの氷結融解作業
	棒状炎	6.0	
10号	1500	100	● アスファルト道路工事 ● 氷結融解作業 ● 船底の乾燥 ● カキ殻・害虫の除去
	棒状炎	9.0	

上手な雑草の焼却方法

■ 雑草は生え始めに焼き払うのがもっとも効果的で簡単です。また焼くことにより害虫退治、土壌の殺虫、殺菌、活性化などさまざまな効果があらわれます。

■ 長くのびてしまった青草を焼く場合は、一度に焼きろうとせず、ゆっくりと歩く位の速さで一度簡単に焼いて下さい。2・3日後、青草は枯れています。さらにもう一度枯れたものを焼却すれば効率よく処理できます。

T4953571020006

製造発売元
新富士バーナー株式会社